

国際法務のベスト・パートナー ウエストロー・ジャパン(株)の 「Practical Law」

ウエストロー・ジャパン(株)が提供するリーガルソリューションである「Practical Law」。世界各国の法制度・判例に関する解説や契約書雛形等の実践的コンテンツを多数収録し、多くのユーザーから支持されている。今回は、国際法務の最前線における活用のひとりである北浜法律事務所の田島弁護士に、その活用術について話を伺った。



田島圭貴弁護士(北浜法律事務所)

「Practical Law」で効率化を実現

——「Practical Law」をどのように役立てていますか？

田島：ウエストロー社のリソースは日常使いをしています。特に「Practical Law」を頻繁に活用しています。英文契約書の作成時にベースとなる雛形を探したり、相手方から契約書を受け取ったときに「どう修正すれば依頼者の利益が図れるか」のヒントを探すことも多いです。また、諸外国の法律や実務について最新の情報を知りたいときにも重宝します。もちろん、現地の信頼できる弁護士に正式なリサーチを依頼する場合も多いのですが、現地弁護士

への問い合わせには相応なコストがかかりますし、「Practical Law」に掲載されている内容は十分な精度と情報量がありますので、依頼者のニーズに応じて使い分けるようにしています。

——「Practical Law」の利用前はどうか？

田島：われわれ弁護士はまったくの白紙状態から契約書を書き起こすことは多くはありません。通常、その案件に条件に近いサンプルや雛形をベースに、依頼者ごと、案件ごとの特性を反映させていきます。以前は、事務所内で蓄積していたフォーム集や、案件を通じて目にした完成度の高い契約書を収集・分類した自分独自のデータベース、あとは紙ベースの雛形集などを利用していました。

——「Practical Law」でデータベースの増大と省力化が一気に実現できたのですか？

田島：雛形をダウンロードすれば、再度自分で条項を打ち込むことなくそのままデータの形で編集ができるので、大幅に効率化が進みました。収録されている雛形も10,000件以上と非常に豊富であり、たとえば売買契約書でも、買主側に有利なものや売主側に有利なもの、さらにそれぞれについてロング/ショートバージョンが掲載されていたりと、かゆいところに手が届くところに魅力を感じています。

また、海外で先行している法分野で、日本ではあまり先例がない書面を作らなければならないような場合も「Practical Law」は非常に参考になります。たとえば、データプロテクションやSDGsについては欧米発信の情報が多く、国内外を問わずそうした先進的な分野の書面を作らなければならないときによく参考にしています。

——「Practical Law」のどのような機能がとくに便利だと思えますか？

田島：契約書の仕事では、「Standard document」と「Standard clause」の2つをよく利用しています。「Standard document」は、すでにお話したようにさまざまな契約書の雛形が収録されており、一方の「Standard clause」は条項単位で検索が可能となっています。たとえば、新型コロナウイルスに関連する条項にどのようなものがあるかなど、ある条項のみを限定して調べるときによく利用しています。

また、「Standard document」では契約書の各条項の下に解説が表示されるのですが、この情報がとても充実しており、かつ細かく設定されたリンクを通じて関連する項目について調べることも容易なため、非常に便利だと感じています。特に若手の弁護

士が体系的な知識を効率的に身につけるのに適しており、教育的な効果が非常に高いと思います。

ユーザーのレベルアップを可能にする

——「Practical Law」は弁護士ユーザーが多いですが、企業の法務部にとっても有益なツールですか？

田島：弁護士には本当に便利なツールで、国際法務を取り扱う多くの法律事務所でも導入されていますし、もちろん企業の法務部にもおすすめです。「Practical Law」は、法務部でも契約書のクオリティの向上・均一化に一役買ってくれると思います。

海外との契約、つまり英文契約書のクオリティを保つのは難易度の高い仕事です。社内に充実した英文契約書の独自のデータベースやスキルの蓄積がある企業は限られるかと思いますが、また、英文契約の作成やチェックのスキルは極めて属人的になりがちで、誰が担当するかで大きくばらつきが出ることもあります。しかし、その案件に適したサンプルを適切に使用すれば、一定水準以上のものをより容易に揃えることができるようになります。さらに、丁寧な解説が付されていますので、法務部員のスキルアップにもつながるかと思います。

企業の法務部の方も、われわれ弁護士も、今後は業務の効率化がこれまで以上に求められます。とくに企業法務の弁護士は、迅速な対応を求められる場面が多く、かつタイムチャージで仕事をしているので、同じプロダクトを出すのであれば「より短い時間で」ということが常に要求されます。これまで慣れ親しんだ手法から新たなシステムに移行するには慣れが必要ですが、長期的な視点で考えれば、業務の効率化につながる新しいツールをいかに使いこなしていくかに頭を使ったほうが今後の発展に資するかと思いますね。(談)

●「Practical Law」の概念図

主要リソース	収録法分野
<p>プラクティスノート 入門ガイドから専門家による分析まで、最新の法律や実務についての分かりやすいハウツーガイドと明確な説明により、迅速に最新情報を把握できます。</p> <p>スタンダードドキュメントおよび条項 専門家のガイダンスを備え、ダウンロードしてMicrosoft Wordに保存して簡単に編集できるPractical Lawの先例集を活用して、契約書、取引、届出書のドラフティングやベンチマークを迅速に行うことができます。</p> <p>ク、トラッカー 主要な法令、判例、日付やその他の動向を簡単にトラッキング可能です。</p> <p>カレント・アウェアネス 当社の経験豊富なチームが執筆する、法律に関する最新情報をカバーした、日刊、週刊、月刊メールをカスタマイズすることによって知っておくべきこととその理由について最新情報を得ることができます。</p>	<p>自動化ツール 自動ドラフティング・ツールFast Draft(ファスト・ドラフト)、リソース上の個人的なメモを作成・共有するためのAnnotation(注釈)機能、文書の書式を特定のスタイルに変換するFirmStyle(ファーム・スタイル)などのツールが搭載されています。</p> <p>キーデートカレンダー キーデートカレンダーを使用して、関連分野において今後予定されている主要な法的事項を確認できます。</p> <p>Ask(アスク) アスク・サービスを通じて、当社の編集チームが資料を探す際の一般論としての個別の法律・制度に関する質問にお答えします。質問をすることで、リソースを見つけるためのアドバイスが得られるとともに、他のユーザーの意見も聞くことができます。当社は、お客様からのフィードバックを、リソースのさらなる発展や改善に活用しています。</p> <p>チェックリスト&フローチャート 一般的な取引の際に、確認漏れがないかを素早く確認できるリファレンスです。</p>
	<p>【コレクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> EU法 Brexit法的対応 国際貿易 & 通関手続 中小企業 チャリティ弁護士 会社秘書向け 保険専門弁護士向け ロースクールリソースセンター スコットランド法リソースセンター 社内弁護士リソースセンター 法務部マネジメント 社内弁護士の日常業務 <p>【セクター】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー(石油、ガス、電力、再生可能エネルギー) 金融(銀行、保険) 重工業(インフラ、建設) ライフサイエンス(製薬、医療機器など) 情報技術(IT、通信、メディア)

ウエストロー・ジャパン株式会社
〒105-0003
東京都港区西新橋3-16-11
愛宕イーストビル4階



HP : <https://www.westlawjapan.com>

▶お問い合わせ

TEL: 0120-100-482 (月~金 9:00-18:00)

E-mail: support@westlawjapan.com